



# 産業成長戦略の 平成26年度当初予算を踏まえた重点項目

## (目次)

- ・ 「高知家」プロモーション (地産地消・地産外商、観光振興、移住促進) . . . 1
- 「リヨースの休日～高知家の食卓～」 . . . . . 3
- ・ ものづくり地産地消・外商センターの設置 . . . . . 6
- ・ 次世代施設園芸団地、農業担い手育成センター、農地中間管理機構 . . . . . 7
- ・ 大都市圏における水産物の販売力の強化  
(高知家の魚 応援の店、全国漁港スーパーネット (築地) ) . . . . . 10

「高知家」プロモーションの切れ目ない実施と、「高知家」のコンセプトのもと  
 地産地消・地産外商、観光振興、移住促進の政策を統一的に展開することにより、より高いレベルの相乗効果をもたらす

高知家  
 プロモーション2nd Season

「高知家」統一セールスキャンペーン



- PLAYER**
- 生産者
  - 移住者
  - 量販店等
  - 飲食店等
  - 宿泊施設等
  - 観光事業者
  - 交通関係事業者
  - 民間企業・団体

県内の「おもてなし」機運を醸成

自ら語り部となって「高知家」の魅力を発信

地域地域で「高知家」ブランドを創出

**「高知家の家族」の参画**

暮らしの中に「高知家」

- 「高知家」グラフィック、ムービー、HP・SNS等への出演
- ピンバッジの活用
- ポスター、チラシ、のぼり、表札の掲示
- 「高知家」ロゴの活用
- PVの店舗での活用 など

<b>地産地消 地産外商</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロモーションと連動した販売展開</li> <li>「高知家」ブランドイメージの活用 など</li> <li>商品への「高知家」ロゴの活用 など</li> </ul>
<b>観光振興</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>旅行商品造成への参画</li> <li>「暮らし」をイメージした体験型観光の推進</li> <li>「食」を絡めた宿泊プランの企画・展開</li> <li>地域の伝統的な食や新たなご当地グルメの開発による観光商品化の推進 など</li> </ul>
<b>移住促進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「移住支援ネットワーク」(仮)による情報発信の強化</li> <li>移住者向け住宅の提供</li> <li>地域での移住希望者へのサポート など</li> </ul>

**官民協働によるセールスの展開**



全国初！ 観光客に教えちゃりたい、「食の店」大投票！



**【一般向けプロモーション活動】**  
 …高知食材のブランド化、「食」と言えば高知！というイメージ戦略

**【首都圏でメディア事業】**  
 (全国・首都圏)  
 ・旬の食」を絡めた情報交換会(年4回)へ(拡充) ・食を絡めたフェスティバル  
 ・プロパ等を対象にしたモニターツアーの実施(年3回)によるSNS等での情報発信(NEW)  
 ・効果的な媒体への露出UPにあわせたペイメントの(拡充)

**【近隣県CM事業】**  
 ・誘客の可能性のある「食イベント」の効果的な情報発信

**【高知エリア等での観光PR】**  
 ・食を前面に出した各地/ペイメント等による観光情報の提供

**【Webでの食資源情報のPR】**  
 ・よこしネットでの総選挙等PR

**【龍馬バースポートII】** (県外ユーザー)  
 ・DMによる旬の観光情報の提供

**【NEXCOラック事業】**  
 (関西圏・中国地方)  
 ・主要SA/コンビニラック20箇所へ(拡充)

**【関西圏ラック事業】**  
 ・関西圏を中心としたペイメント配架先の開拓(拡充)

**【旅行情報誌とのタイアップ】** (関西・中四国)  
 ・ターゲットにあわせた媒体等を活用した「旬の食」特集による情報発信(ユニーク)

食を前面に出した観光誘客

【セールス活動】…旅行商品化

**【着地型】**  
 ・国民総選挙の上位店舗掲載  
 ・ビデオ作成(NEW)  
 ・「ごちじん」や「シーブリーズ」等の旬の食材やご当地グルメ等の情報を掲載(拡充)  
 ・地域限定のグルメツアー等の掲載等(幡多広域) (ユニーク)

**【龍馬バースポートII】**  
 ・ご当地グルメ・丼の積極的な企画  
 ・体験する「食」の積極的な企画  
 ・地域情報の発信  
 ・体験プログラムとお薦めの食(カヌー&BBQ)等の情報提供

**【ごちじん旅広場】**  
 ・「龍馬伝」幕末志士社中での御膳テラの実施(復活)

**【食のイベント】**  
 ・「長りカツオ祭」での漁師体験等  
 ・南国スイーツフェスタの実施(南国市) etc. (黒潮町) (NEW)

**【発地型】**  
 【旅行会社へのセールス】(首都圏・名古屋・関西・中四国・福岡)  
 ・旅行会社へのセールス活動 (パーソナル系・メディア系) (パーソナル系)  
 ・「高知家の食卓」ランチ&スイーツ (仮称) の実施 (H26下期)(NEW)  
 ・旅館・ホテルでの一品料理の提供(NEW)  
 ・玉姫さまの通行手形 (四万十市)  
 【メディア系】  
 ・近隣県からのツアー等への総選挙上位店舗PR(NEW)  
 ・観光園等での収穫体験の誘致  
 ・街歩き+地域分当のセットツアーの提供  
 【WEB会社へのセールス】 (じやらん・楽天トラベル等)  
 ・「高知家の食卓」映動きつが (仮称) の実施 (H26.8～12予定)(NEW)

**【食資源】**

旅行商品化 ●高知ならではの海、山、川の恵み ●そこにはないもの etc.

<p><b>郷土料理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○カツオ料理</li> <li>○血鉢料理</li> <li>○田舎寿司 etc.</li> </ul>	<p><b>ご当地グルメ・丼</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○鍋焼きラーメン</li> <li>○釜あげちのめん丼</li> <li>○室戸キンメ丼 etc.</li> </ul>	<p><b>特徴のある食空間 (食のイベント)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ひろめ市場</li> <li>○土佐のおきやべい</li> <li>○どろめ祭り etc.</li> <li>○かつお祭り</li> <li>○鯛肉祭 etc.</li> </ul>	<p><b>体験する「食」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○カツオの煮焼きづくり体験</li> <li>○天日塩づくり体験</li> <li>○収穫体験 etc.</li> </ul>	<p><b>買「食」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○日市市</li> <li>○道の駅直助所</li> <li>○おかみさん市</li> <li>○美落活動センター etc.</li> </ul>
--	--	---	--	---

【食 材】

**【春】**

**【食 材】**

**【O】：美味しい休日**  
 ・初カツオ・どろめ・土佐シロー・土佐はちきん地鶏・トナトの料理 etc.

**【A】アケイゴな休日(体験P)**  
 ・ホエールリボッチング  
 ・カヌー・ラッチェンダ  
 ・シーカヤック・シムルケリング  
 ・サントコリキツチング etc.

【観光資源】

**【夏】**

**【食 材】**

**【O】：美味しい休日**  
 ・土佐はちきん地鶏・四万十ホーク・ナス・ミニトナトの料理 etc.

**【R】ロマンの休日(施設等)**  
 ・龍馬記念館・歴史民俗資料館・弥太郎生家・シヨウ万館・中岡真太郎館  
 ・ホビー館・リバーズホット etc.

【秋】

**【食 材】**

**【O】：美味しい休日**  
 ・長りカツオ・金目鯛・鮎・四万十ホーク・土佐あかうしの料理 etc.

**【M】学びの休日(街歩きガイド)**  
 ・土佐つ歩・室戸シオガイ  
 ・下・森林鉄道ガイド  
 ・天日塩づくり体験  
 ・ターウオッチング etc.

【冬】

**【食 材】**

**【O】：美味しい休日**  
 ・サバ・鯨・土佐あかうし・シヤモ・柚の料理 etc.



全国初の県民総選挙を旗印に、食資源を活かした旅行商品化とプロモーションを実施

# 食の観光商品づくりに向けて

## ご当地グルメ

高知県における「ご当地グルメ」の定義  
 ①地域で長年わたって提供されている独特のグルメや料理（ペラ焼き、鍋焼きラーメンなど）  
 ②地域の食材を活かして地域おこしも見据え創作した独特の料理（香南にら塩焼きそば、釜あげちりめん丼など）  
 ※料理を基本とし、単なる加工品や、単独店舗で提供しているものは除く

「買」魅力を高める  
 ①食に関する消費形態のバリエーション  
 ②土産品に付加価値付け  
 ③販売方法の工夫

### 食材

地域食材等の選定

- カツオ ・ 金目鯛
- きびなご ・ サバ
- メジカ ・ クジラ
- 住吉長太郎
- ノレソレ ・ どりめ
- ちりめんじゃこ
- アメガゴ ・ 鮎
- つがいに ・ うなぎ
- シヤモ
- 土佐はちきん地鶏
- 土佐ジロー
- 土佐あかうし
- 大川黒牛
- 四万十ホーク
- スジアオノリ
- ナヌ ・ 生姜
- 四方竹 ・ 芋のつる
- 西山金時芋
- フルーツトマト
- 土佐茶 ・ 碓石茶
- ユズ ・ ポンカン
- 直七 ・ 土佐文旦
- 小夏 ・ 新高梨
- エディブルフラワー

### 掘り起こし

地域の食・観光に取り組む団体  
 観光協会・商工会・商工会議所  
 観光活動センター  
 婦人会 ・ 調理師会  
 ・ 漁業者  
 ・ 宿泊施設  
 ・ 飲食店  
 等

地域食材を活かしたメニューの開発  
 ○商品戦略・コンセプトの策定  
 ○料金の設定  
 ○協力店舗の確立

「食」への魅力を高める工夫  
 ①地域独自の調理方法  
 ②地域らしさを際立たせる提供方法  
 ③観光地での食の選択の幅を広げる取り組み

とどろく「道の駅」でのテスト販売

サポート  
 ○アトハイスターの招聘  
 (計画推進課、地域づくり支援課、中山間地域対策課等の制度活用)  
 ○土佐MBAへの参加支援  
 ○補助金等  
 ・観光拠点等整備事業費補助金  
 ・地域づくり支援事業費補助金  
 ・集落活動センター推進事業費補助金

【事例】  
 ・おとめまぐろ丼  
 ・ジビエ料理  
 (シカ・イノシシ)  
 ・なるこ丼  
 ・四万十鶏チキンバーガー

### ご当地グルメづくり

地域の食・観光に取り組む団体  
 観光協会・商工会・商工会議所  
 観光活動センター  
 婦人会 ・ 調理師会  
 ・ 漁業者  
 ・ 宿泊施設  
 ・ 飲食店  
 等

受入体制の充実  
 ○面的ネットワークの確立  
 【4定条件】  
 ・定時  
 ・定量  
 ・定質  
 ・定価

食1グランプリ・土佐の豊穡祭へPRブース設置  
 成功のカギ  
 産・農・水・商部  
 ・局との連携

観光商品化

サポート  
 ○アトハイスターの招聘  
 (計画推進課、地域づくり支援課、中山間地域対策課等の制度活用)  
 ○施設設備等への補助  
 ・観光拠点等整備事業費補助金  
 ・地域づくり支援事業費補助金  
 ・集落活動センター推進事業費補助金  
 ・6次産業化推進事業  
 ○人材育成  
 ・広域観光推進事業費補助金  
 ・観光拠点等整備事業費補助金  
 ・土佐MBA  
 市町村・県地域本部  
 県計画推進課・地域観光課 等

【事例】  
 ・香南ニラ塩焼きそば  
 ・安芸釜あげちりめん丼  
 ・清水サバの漬け丼  
 ・きびなご丼

### 観光商品化

地域の食・観光に取り組む団体  
 観光協会・商工会・商工会議所  
 観光活動センター  
 婦人会 ・ 調理師会  
 ・ 漁業者  
 ・ 宿泊施設  
 ・ 飲食店  
 等

プロモーション活動  
 ・旅行会社等へのセールス  
 ・全国イベントへの出展  
 ・PR活動(バスメディア等)  
 ・モニターツアー  
 ・首都圏メディア等へのPR活動  
 ・メディアモニターツアーの実施

売込み  
 ◆「買」魅力を高める  
 ①食に関する消費形態のバリエーション  
 ②土産品に付加価値付け  
 ③販売方法の工夫

サポート  
 ○アトハイスターの招聘  
 (計画推進課、地域づくり支援課、中山間地域対策課等の制度活用)  
 【補助金】  
 ・観光拠点等整備事業費補助金  
 ・広域観光推進事業費補助金  
 ・地域づくり支援事業費補助金  
 ・集落活動センター推進事業費補助金  
 ・6次産業化推進事業等

【事例】  
 ・鍋焼きラーメン  
 ・ごめんシヤモスキヤキ

## 体験する「食」

### 体験プログラムづくり

掘り起こし  
 地域の食・観光に取り組む団体  
 観光協会・商工会・商工会議所  
 観光活動センター  
 婦人会 ・ 調理師会  
 ・ 漁業者  
 ・ 宿泊施設  
 ・ 飲食店  
 等

地域食材を活かした体験プログラム開発  
 ○商品戦略・コンセプトの策定  
 ○料金の設定  
 ○協力者(店舗)の確立

「食」を体験する魅力をつくる  
 ①食の生産・加工体験を提供  
 ②食に関する付加的な体験を提供

サポート  
 ○アトハイスターの招聘  
 (計画推進課、地域づくり支援課、中山間地域対策課等の制度活用)  
 ○土佐MBAへの参加支援  
 ○補助金等  
 ・観光拠点等整備事業費補助金  
 ・地域づくり支援事業費補助金  
 ・集落活動センター推進事業費補助金

【事例】  
 ・Myちりめん丼づくり(安芸市)  
 ・フクロランチョウづくり(芸西村)  
 ・フルーツトマト収穫(日高村)  
 ・干物づくり(室戸市)  
 ・文旦ケーキ作り(黒潮町)

### 磨き上げ

地域の食・観光に取り組む団体  
 観光協会・商工会・商工会議所  
 観光活動センター  
 婦人会 ・ 調理師会  
 ・ 漁業者  
 ・ 宿泊施設  
 ・ 飲食店  
 等

受入体制の充実  
 ○体験プログラムの確立  
 ○カバ・インストラクターの充実  
 【4定条件】  
 ・定量  
 ・定質  
 ・定時  
 ・定価

観光商品化  
 ◆「買」魅力を高める  
 ①食に関する消費形態のバリエーション  
 ②土産品に付加価値付け  
 ③販売方法の工夫

サポート  
 ○アトハイスターの招聘  
 (計画推進課、地域づくり支援課、中山間地域対策課等の制度活用)  
 ○施設設備等への補助  
 ・観光拠点等整備事業費補助金  
 ・地域づくり支援事業費補助金  
 ・集落活動センター推進事業費補助金  
 ・6次産業化推進事業  
 市町村・県地域本部、県計画推進課、地域観光課 等

【事例】  
 ・酒蔵見学(高木酒造・松尾酒造・アリス酒造)  
 ・天日塩づくり(田野町・黒潮町)  
 ・ぼろしパン手作り(いの町)  
 ・「朝げし」と「市場体験」(高知市)  
 ・鯛めしづくり(宿毛)  
 ・田舎寿司作り(いの町・黒潮町・香美市)

### 観光商品化

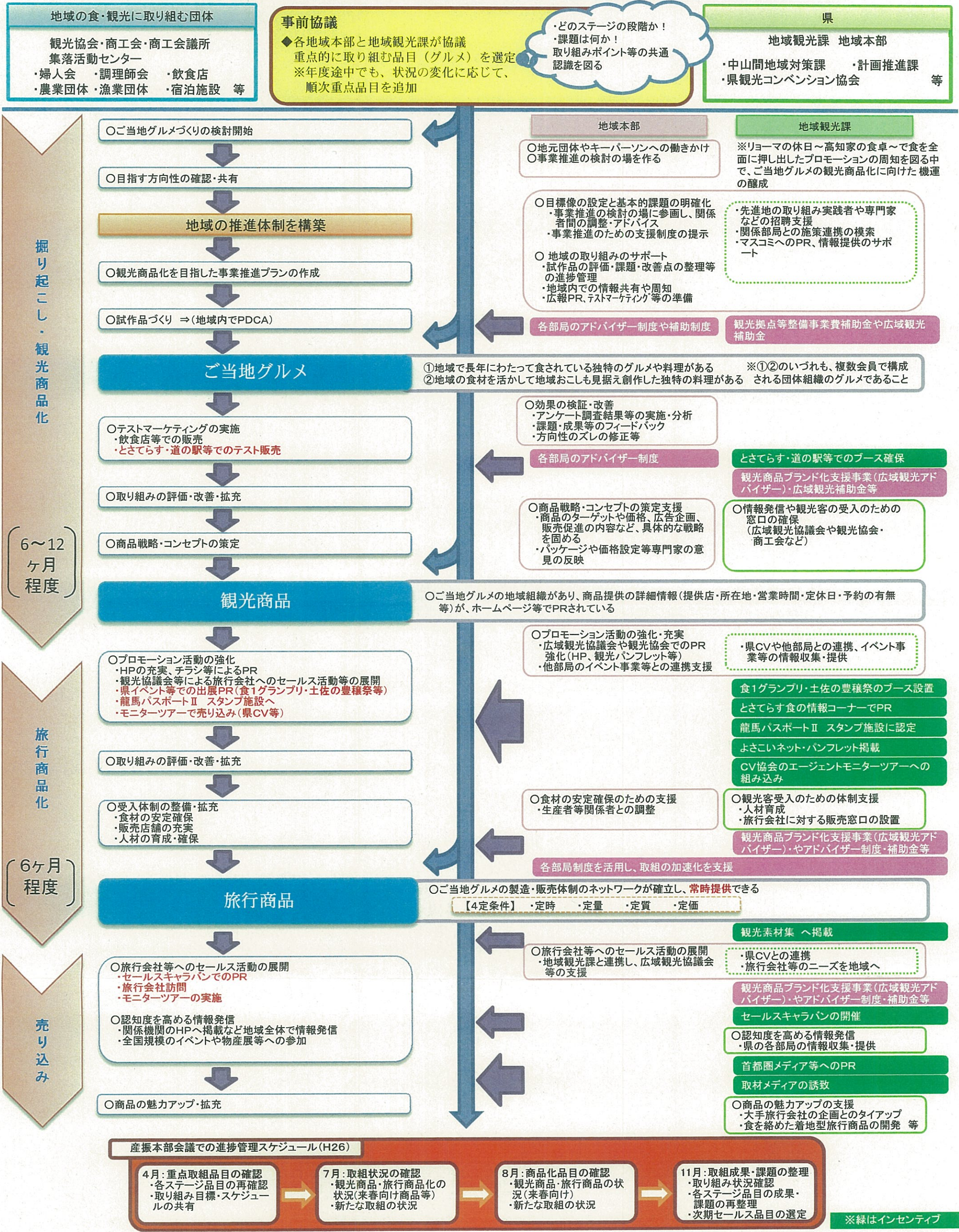
地域の食・観光に取り組む団体  
 観光協会・商工会・商工会議所  
 観光活動センター  
 婦人会 ・ 調理師会  
 ・ 漁業者  
 ・ 宿泊施設  
 ・ 飲食店  
 等

プロモーション活動  
 ・旅行会社等へのセールス  
 ・全国イベントへの出展  
 ・PR活動(バスメディア等)  
 ・モニターツアー  
 ・首都圏メディア等へのPR活動  
 ・メディアモニターツアーの実施

サポート  
 ○アトハイスターの招聘  
 (計画推進課、地域づくり支援課、中山間地域対策課等の制度活用)  
 【補助金】  
 ・観光拠点等整備事業費補助金  
 ・広域観光推進事業費補助金  
 ・地域づくり支援事業費補助金  
 ・集落活動センター推進事業費補助金  
 ・6次産業化推進事業等

【事例】  
 ・カツオの塩焼き体験(黒潮町)  
 ・お座敷遊び(高知市)  
 ・上ノ加江漁業体験(中土佐町)  
 ・山北みかん狩り(香南市)

# 食の旅行商品化に向けた事務フローチャート(ご当地グルメ)



掘り起こし・観光商品化

6~12ヶ月程度

旅行商品化

6ヶ月程度

売り込み

※緑はインセンティブ

# ビジネスプランづくりから商品開発・販売促進まで「ものづくりを一貫してサポート！ = 高知で “いっしょに創る～や！” =

## バージョンアップのポイント

平成26年度は、これまで産業振興計画により5年間で積み上げてきた仕組みに加え、景気回復と国の大規模な経済対策の本格化とが重なり合う「ものづくり」に取り組みには**千載一遇の年**

高知県での「ものづくりの流れを」より大きく・より早く・より確実にするため、**ものづくりを応援する施策と体制を抜本強化！**

## 強化のポイント

- 1 既存施策のPDCAを動かせ、**施策のライオンツツア(ものづくりまるごと応援パッケージ)をさらに充実** (拡充・新設)
- 2 産業振興センターの**ものづくり地産地消センターと外商支援部を統合し「ものづくり地産地消・外商センター」を設置(26人→35人:大幅に強化！)**
- 3 総合相談窓口の設置で、ものづくりに関する相談に**ワンストップ**で対応
- 4 企業ごとの担当者制で、事業化プラン策定から外商までを一貫サポート
- 5 **全国レベルの専門人材を配置し、全国に通じる製品・会社づくりをサポート**
- 6 外商の**県外サポートを強化** (名古屋=新規1人、東京=増員1人)



## さらにライオンツツアを充実！

試作開発・商品開発 販路開拓・拡大 事業拡大・雇用創出

【補助金による財政的支援(研究会発事業化プラン対象)】  
 ・研究会発事業化支援事業費補助金(単年度)  
 ・**PDCAを働かせプランを再度支援(H26～)** (拡充)  
 ・**こうち産業振興基金【チャレンジ企業支援事業】(複数年度)**

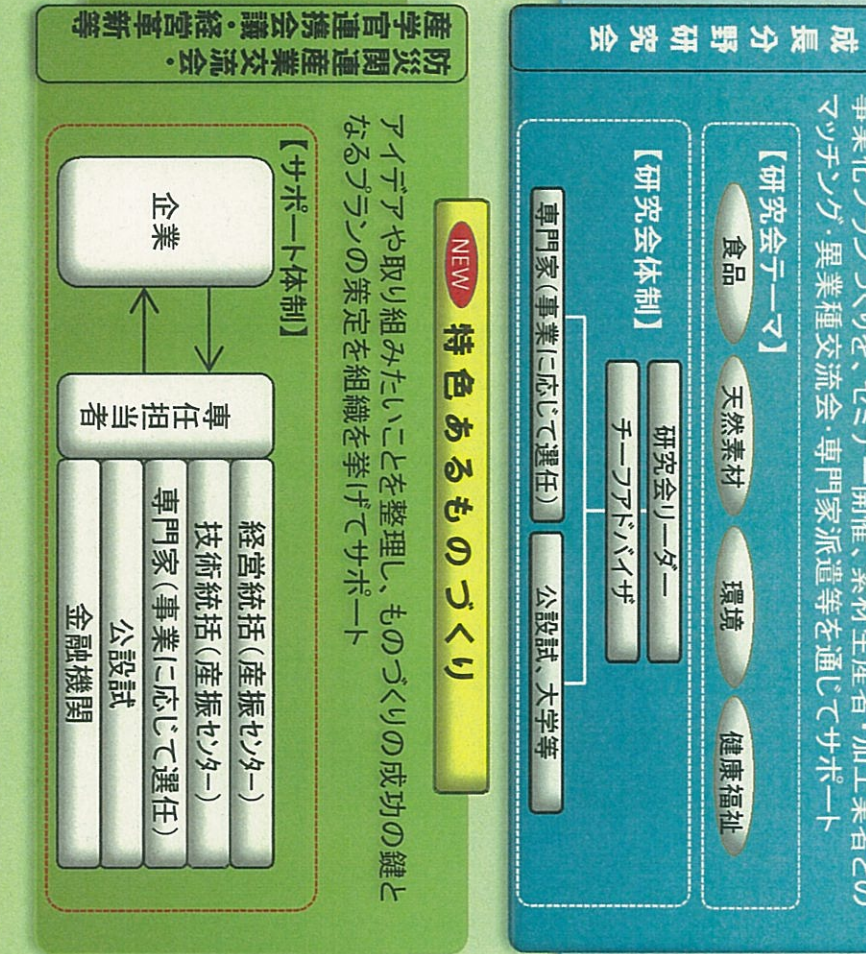
- 【拡充】 企業立地に対する助成(全国トヨタの制度)
- 【拡充】 震災に強い新たな団地開発の加速化
- 【拡充】 設備投資促進事業費補助金
- 【自己資金要件(15%)の廃止
- 【NEW】 制度融資による支援
- 【NEW】 産業振興計画推進融資を創設
- 【拡充】 公的調達制度による信用力の付与
- 【拡充】 モデル発注制度、防災関連製品認定制度
- 【拡充】 見本市への出展機会の拡充
- 【拡充】 防災・農業等の分野別出展強化、出展小間数の増
- 【拡充】 開発段階で直面した課題に対応した専門家派遣
- 【NEW】 公設試験研究機関による技術支援
- 【NEW】 共同研究、技術指導、性能評価、成分分析等
- 【NEW】 新たな設備投資促進策を創設
- 【NEW】 (産業振興センター)の基金事業(対応)
- 【拡充】 ものづくり地産地消 外商推進事業費補助金
- 【拡充】 ※ H26より外商を見据えて県外工にも対応

特色あるものづくりの成功イメージ  
 ・3年で100件のプラン策定を目指す。  
 ・将来的に2年商1億円以上の製品30品の育成を目指す。

事業化プラン策定 100件/3年  
 28年度 35件  
 27年度 35件  
 26年度 30件  
 16件/年

ものづくり地産地消 推進事業費補助金 採択実績(年平均)

## ものづくり地産地消・外商センター



意識啓発セミナー、相談会の企画・案内  
 ・専任担当者の決定  
 ・施策パッケージの紹介等

## ポイント4

各企業ごとの専任担当者(産業振興センター職員)が、担当企業の事業展開を一貫してサポート(4人増)

## ポイント5

企業の状況に応じた販売活動サポート  
 ○マーケティング等の専門性を活かして全国に売り込み

## ポイント6

県外市町村等への販路開拓(防災関連製品等)  
 ○県外見本市と連動した営業活動、情報収集、フイードバック

## ポイント7

県外見本市と連動した営業活動、情報収集、フイードバック

## ポイント8

県外見本市と連動した営業活動、情報収集、フイードバック

## ポイント9

県外見本市と連動した営業活動、情報収集、フイードバック

## ポイント10

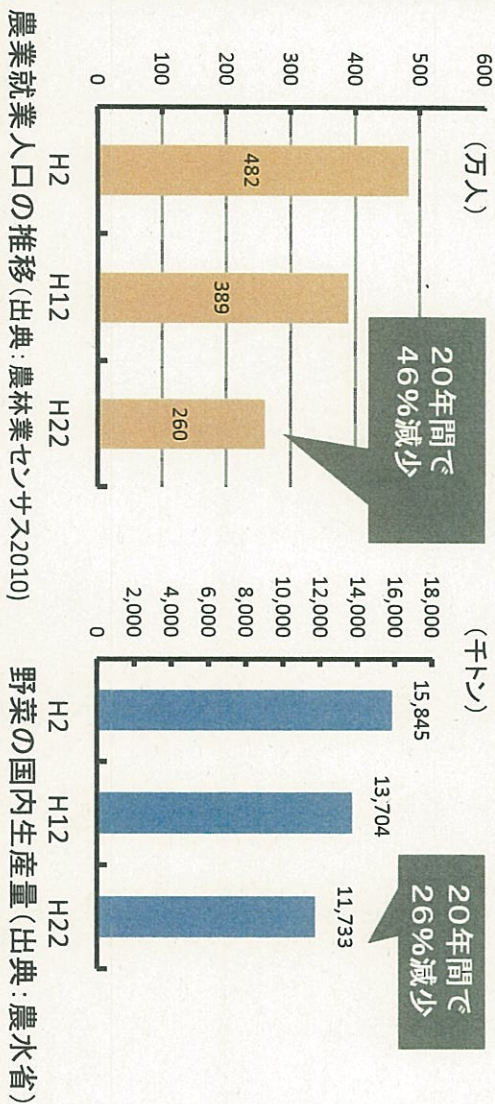
県外見本市と連動した営業活動、情報収集、フイードバック

関連団体との連携をより一層密にした情報発信、サポートを強化  
 (市町村、金融機関、工業会、中小企業団体中央会、商工会議所連合会、商工会連合会、経営者協会、大学・高専等)

# 「次世代施設園芸団地」の整備

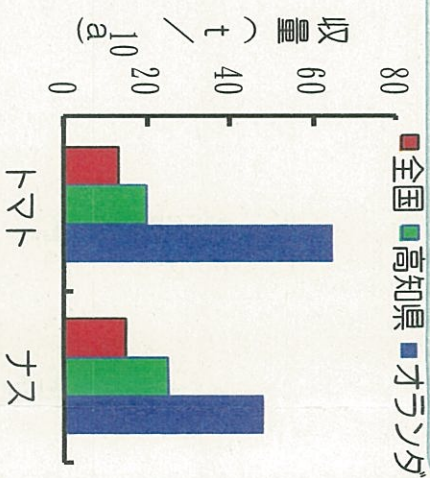
## 日本の園芸農業の現状等

◆農業就業人口が減少、野菜の生産量は低下し続けている。



◆一方、オランダは、九州と同面積で世界第2位の農産物輸出国  
**高軒高ハウス、養液栽培、統合環境制御**  
**などが必須技術**

しかし、日本では  
 ・オランダに比べて収量が低い。  
 ・経営規模が小さく、生産コストが高い。  
 ・価格が高騰している化石燃料に依存している。



## 園芸農業の強化

◆オランダ並みの収量を実現する先進技術の普及が必要

◆国内各地で次世代施設園芸拠点の成功モデルの実現が必要

## 次世代施設園芸団地の整備

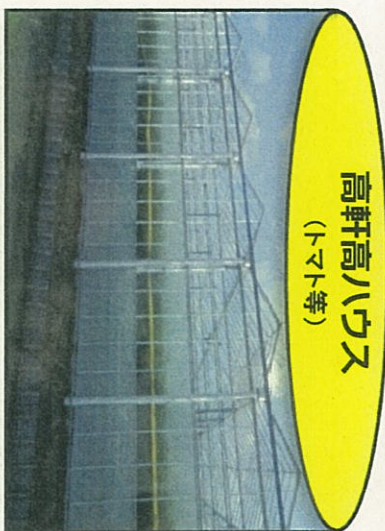
### 高品質・多収技術

- 統合環境制御技術による増収
- 炭酸ガス施用、温湿度管理、LED照明等
- ゾーナ農業による飛躍的な増収



### 先進的なPM技術

- 生物的防除技術の活用等
- 土着天敵、微生物資材
- 物理的防除技術の活用
- 防虫ネット、防蟻灯



### 化石燃料からの転換

- 森林資源の活用
- 木質バイオマスボイラー
- 自然エネルギーの利用
- 太陽光蓄熱、発電

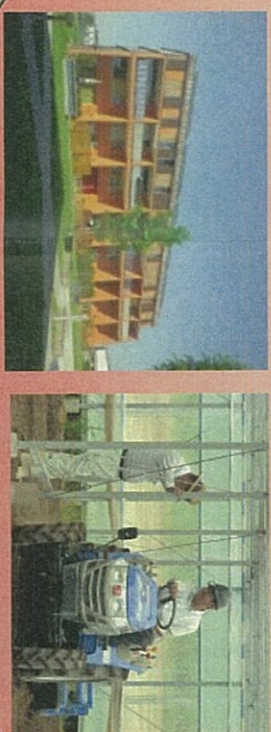


### 規模拡大による効率的な栽培・経営

- 施設の大型化・機械化・自動化
- 生産性、作業性の向上
- 経営管理の効率化
- 企業の経営によるコスト、労務管理

- ・技術支援、交流
- ・技術情報の発信
- ・先進技術、経営セミナーの開催
- ・研修生の受入

## 農業担い手育成センターとの連携



## オランダとの友好園芸農業協定を活かした連携





# 農業担い手育成センターの整備

本県農業の  
活性化に向けた  
課題

- ◆ 新規就農者のさらなる確保と併せ、技術、経営を習得するための研修機関の強化が必要
- ◆ オランダ並みの収量を目指すために、革新的な先進技術を実証、普及する機関の強化が必要
- ◆ 先進技術を普及推進する普及指導員、JA営農指導員等の人材育成を強化することが必要

## 解決の手段

本県で就農を希望する方が技術、経営の基礎から実践までを学び、スムーズな就農につなげるための支援体制を強化し、併せて、飛躍的な増収を目指した先進技術を「見て、学んで、感じる場(実証ほ)」を整備し、本県農業の今と未来を支える農業者と指導者が共に育つための「人材育成拠点」を創設する。

## 目的

- ◆ 新規就農者の確保、育成
- ◆ 先進技術を習得した農業者の育成
- ◆ 先進技術指導者の育成

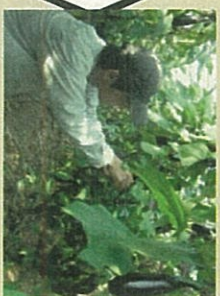
移住促進

## 新規就農者の増加

技術を習得し、産地とのマッチングが出来れば就農へ



就農希望地で研修(指導農業者、篤農家)



## 収量の増加

農家(現場)では実証できない先進技術を実際に見て、効果を確認することで普及推進へ

先進技術を普及推進する技術指導者が育ち、産地が活性化

1,050億円の達成へ

## 新規就農者の育成拠点(基礎、実践技術の学びの場)

### Point

- ◆ **全国から新規就農者を受入れ**
  - ◆ **研修生の受入れ枠拡大**
  - ◆ **研修内容を充実、強化**
  - ◆ **研修終了後のスムーズな就農支援**
- ◆ 長期研修用宿泊施設を新たに建設(2階建CLT工法)
- ◆ 短期研修コースの新設など、研修内容を充実
- ◆ 栽培技術、経営管理の基礎研修(経営、技術アドバイザー等外部講師の活用)
- ◆ 先進技術の実践研修
- ◆ 研修終了後のスムーズな就農支援
- ◆ 農業会議、公社等と連携し、就農に向けた農地や住居等の情報収集と提供
- ◆ 産地との交流をコーディネートすることで就農後のイメージを具体化

長期研修施設



基礎技術をしつかり習得

農家が  
アドバイザー  
セミナーに参加  
(ともに学ぶ)

## 先進技術の実証・普及拠点(意欲的な農業者、指導者の学びの場)

### Point

- ◆ **先進技術を組合せた総合技術実証展示**
  - ◆ **先進技術や経営管理力の向上**
  - ◆ **先進技術の栽培実証**
  - ◆ **農業者の相互研鑽の場の充実**
  - ◆ **技術指導者の育成**
- ◆ 先進技術の栽培実証
- ◆ 先進技術や経営管理力の向上(実際に栽培し、見せ、伝える)
- ◆ 先進技術、経営セミナーの開催(経営、技術アドバイザー等外部講師の活用)
- ◆ 農業者の交流、情報交換
- ◆ 技術指導者の育成
- ◆ 先進技術を普及推進する人材を育成



技術・経営セミナー



オランダ並みの収量を目指した技術実証

## 新規就農者の確保・育成

- ◆ 都会で学ぶ「こうちアグリスクール」の強化
- ◆ 各会場40名を確保
- ◆ 就農相談対応の強化
- ◆ 高知県新規就農者相談センター、市町村、JA等のネットワークを強化
- ◆ 県組織の就農相談窓口として機能強化

就農相談から就農までの支援強化

## 意欲ある農業者の技術習得

意欲的な農家の研修の場

- ・新規就農者
- ・オランダ研修農家
- ・指導農業者、篤農家
- ・青年農業者、OB会
- ・農業生産法人等

## 先進技術指導者の育成

指導者研修  
普及指導員、JA営農指導員

先進技術の普及推進強化

# 農地中間管理機構による農地集積・集約化活動について

## 農地の出し手

- ① 農業部門の減少により経営転換する農業者
  - ② リタイアする農業者
  - ③ 農地の相続人
  - ④ 「人・農地プラン」に基づき機構にまとめた農地を貸しつけた地域
  - ⑤ -1 機構が借受けた農地及び借受希望者公募者が経営する農地に隣接する農地等
  - ⑥ -2 上記以外の一部の農地を手離す農業者
  - ⑦ 機構に対して10年以上貸付できない農業者
- 機構集積交付金交付対象者 → ①～⑤-1の農業者(地域)  
● 機構集積協力金非該当 → ⑤-2、⑥の農業者

・受け手が決定するまでの賃料や農地の保全管理費について支援  
・県の広報、市町村等の広報誌を通じて周知、掘り起こしを図る

- 農業委員会**
- 農地基本台帳の整備
  - 農地利用意向調査の実施、農地の利用改善が図られない場合、機構との協議を勧告

## メリット策の課題(H24～H25)

・集積交付金は、「人・農地プラン」において地域の中心として位置付けられた受け手に農地が貸しつけられることで給付されるため、未作成の地域が多く、活用されなかつた。

## 農地中間管理権を設定

### 農地を借りやすくする

- 機構集積交付金**  
(要件:機構介入)
- 【経営転換協力金】**  
離農・経営転換者・農地の相続者等への協力金  
～0.5ha 30万円/戸  
0.5ha～2ha 50万円/戸  
2ha～ 70万円/戸  
**【耕作者集積協力金】**
- 農地の連担化が図られる場合に交付  
2万円/10a
- 【地域集積協力金】**  
貸付割合に応じて地域に交付  
2割～5割 2.0万円/10a  
5割～8割 2.8万円/10a  
8割～ 3.6万円/10a

- 機構集積支援事業**  
(農業委員会への支援)  
農地基本台帳の電子化、遊休農地所有者への利用意向調査の実施等

## 農地の中間保有

### 農地中間管理機構

#### 農地中間管理事業費補助金

- (1) 機構事務費  
① 人件費  
② 旅費等経費  
③ 市町村等委託費
- (2) 事業費  
① 農地の賃料  
② 農地の管理・保全経費

### 委託

- 市町村、JA等
- ① 人件費  
② 旅費等経費
- 【委託内容】**  
・窓口業務、事業周知  
・出し手との利用調整  
・受け手の受け手の農地の利用状況の確認  
・賃料徴収・賃料支払に係る業務

## 利用権設定

### 機構運営への支援

- 農地中間管理事業  
農地中間管理機構の事務費及び県の事務費

- 農地情報  
農地希望者  
情報の共有
- ・担い手育成センター  
・移住・交流コンシェルジュ

## 農地の受け手

- 集落営農組織**
- ・10年後5,000ha(経営耕地面積)を目指す ※現在2,011ha

- 大規模経営農家(稲作等)**
- ・10ha以上の大規模経営農家を育成
  - ・10年後3,000ha(経営耕地面積)を目指す ※現在346ha

- JA生産部会等**
- ・JA調査では10年後に8%の農地が減少
  - ・県全体では10年後に672haが遊休化

- 担い手となる新規就農者**
- ・担い手育成センター等での研修を修了した者

### 農地を貸しやすくする(関係事業の活用)

- 借り入れた農地に対して、畦畔除去等による区画拡大や暗渠排水等の簡易な整備を実施
- (農業基盤整備促進事業(国)を活用)  
田畑の区画拡大 10～12万円/10a  
暗渠排水 15～18万円/10a  
畑地のかんがい施設の整備 20～24万円/10a 等

担い手による利用が見込まれる場合には、雑草・雑木の除去、土壌改良等により耕作放棄地の再生作業を実施

〔除草・雑木の除去の場合〕  
国の補助残に県が15万円/10aを上限に上乗せ補助

## 取組・改善策(H26～)

- ・「人・農地プラン」の作成が進み、平成25年度末には県全体が網羅される見込みである。
- ・「人・農地プラン」については、毎年内容の見直しが行われることから農地の貸借を希望される方の情報が得られやすくなる。
- ・原則集積交付金の交付対象農地は中間管理機構が借り受けて転貸した農地。
- ・新たなメリット策として「地域集積協力金」が創設され、受け手に農地が貸し付けられなくても交付される。

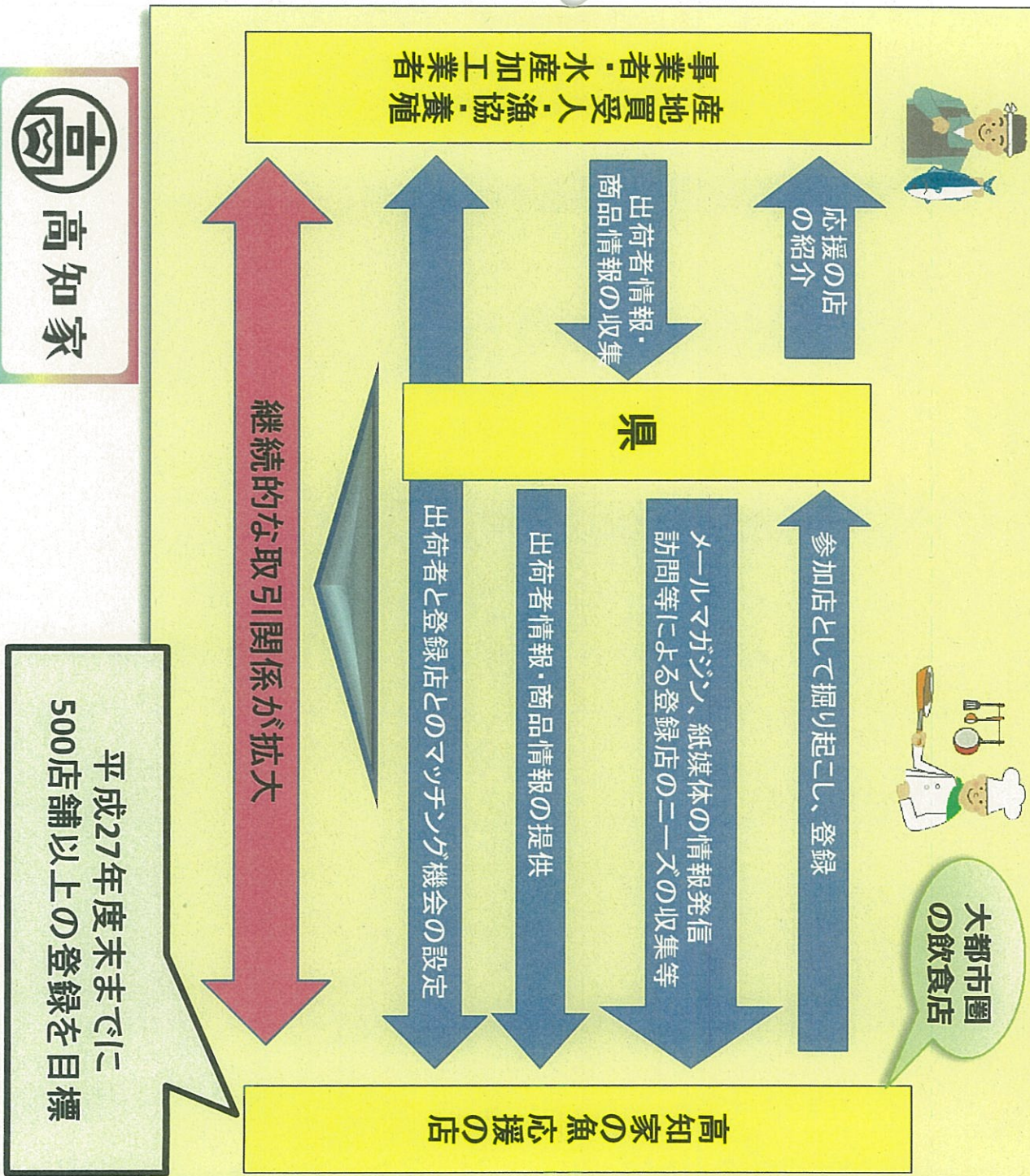
## 担い手への農地集積・集約化を加速化

# 大都市圏における水産物の販売力の強化



## 大都市圏の飲食店等と連携した外商活動の強化 ～「高知家の魚応援店制度」の創設～

**水産物地産外商推進事業**  
首都圏や関西圏を中心とした大都市圏の飲食店と産地とのネットワークを構築し、飲食店のニーズの産地への提供と産地情報の飲食店への提供等を行い、本県産水産物の地産外商を推進する



## 「全国漁港マーケット（仮称）」（築地）を活用した首都圏での外商活動の強化

**水産物首都圏販売拠点設置事業**  
築地場外市場に新設される「全国漁港マーケット（仮称）」を、首都圏での本県水産物の情報発信や販売活動の拠点として活用するため、県内事業者の出店を支援する

